

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2009

第7回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン



Moeke Matsumura



Mutsumi Hatano



Hirohisa Tsuji



Masato Makino



Toshiaki Misawa

ヘンデル没後250年

記念フェスティバル

モットー：
激情人、劇場人、ヘンデル

メサイア

Messiah

「1741年初稿版」全曲

ソプラノ 松村 萌子
 アルト 波多野 睦美
 テノール 辻 裕久
 バス 牧野 正人
 指揮 三澤 寿喜

キャンonz・コンサート室内合唱団&管弦楽団

4/20 (月)

浜離宮朝日ホール

18:30開演 18:00開場
21:10終演予定

一般 S 6500円 A 5500円

学生 3000円(当日のみ)

支援会会員 S 4500円 A 3800円 全席指定

第7回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン《メサイア》公演関連企画

合唱講習会『ハレルヤ!』

◆没後250年の命日を記念してハレルヤ大合唱とワイン・パーティー

◎講師&指揮：三澤 寿喜 / ピアノ伴奏：勝山雅世

4/14 (火) 18:30 ~ 21:00
池上ルーテル教会

一般 2500円

学生 1200円

支援会会員 1700円

(全席自由/定員80名/飲み物代込み)

■お得な2公演通し券 S 8000円 A 7200円

…アレグロミュージックにて取り扱い。前売りのみ。

■学生券 …アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

【チケット取り扱い】

アレグロミュージック 03-5216-7131

東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (4/20 メサイア公演のみ)

主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会 制作統括/監修：三澤 寿喜

助成：財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 財団法人花王芸術・科学財団

協力：朝日新聞社 東京古典楽器センター(チェンバロ) 石井賢(ポジティブ・オルガン)

池上ルーテル教会 蒲田教会

後援：インターナショナル・ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ)

ヘンデル・ハウス財団(ドイツ、ハレ) アメリカ・ヘンデル協会

マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131

問い合わせ：HFJ事務局(三澤) 0297-82-7392 jimukyoku@handel-f-j.org

●ヘンデル・フェスティバル・ジャパン公式HP <http://www.handel-f-j.org/index.html>

第7回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン

MOTTO: HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン HANDEL FESTIVAL JAPAN (HFJ)

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン(HFJ)は没後250年となる2009年を目標として2003年から活動を開始しました。これまでの6年間でコンサート14回、講演会4回、研究会14回を開催し、器楽から声楽(オペラ、オラトリオ、教会作品)に至る広範で意欲的なプログラミングと質の高い演奏で注目を集めてきました。ヘンデル作品の演奏・研究両面において、HFJはわが国の音楽界を主導する役割を担っていると自負しています(主な演奏曲目:第1回《エイシスとガラテア》、第2回《復活》、第3回《合奏協曲作品6》、《ヘラクレスの選択》、第4回《ヘラクレス》、第5回《水上の音楽》《戴冠式アンセム》、第6回《タメルラン》、など)。いよいよ記念年となる第7回はユニークな4つの企画を用意しました。その第一弾は《メサイア》に関わる2企画です。

企画1:合唱講習会「ハレルヤ!」

4月14日(火) 18:30~21:00 池上ルーテル教会

ヘンデルは1759年4月14日に息を引き取りました。その命日を偲び、傑作オラトリオ《メサイア》の中のAnd the glory of the LordとHallelujahの2曲を大合唱します。30年以上ヘンデル研究に専念してきた三澤寿喜が「目から鱗」の解釈を提案し、参加者全員で大合唱します。最後はワイン・パーティーでヘンデルを偲びます。ヘンデル崇拝者(ヘンデリアン)と合唱愛好家の皆様、気軽にお集まりください。

曲目:《メサイア》第1部より And the glory of the Lord
第2部より Hallelujah

※参加者は《メサイア》の楽譜をご持参ください。

◎推薦楽譜

全曲ヴォーカル・スコア=①全音楽譜出版社②ペーレンライター③ベーターズ
「ハレルヤ・コーラス」(合唱ピース)=全音楽譜出版社(校訂:三澤寿喜)

企画2:オラトリオ《メサイア》(HWV56)全曲 1741年初稿版

4月20日(月) 18:30~21:10 浜離宮朝日ホール

指揮者からのメッセージ・・・原点に還った《メサイア》・・・三澤寿喜

1759年4月20日、ヘンデルはウェストミンスター・アビーに埋葬されました。その埋葬記念日に合わせて、彼の不朽の名作《メサイア》を全曲演奏し、彼の偉業を称えようと思います。

ヘンデルは現実的な人物でしたので、実際の《メサイア》の演奏では歌手の事情などに応じて作品を改訂しました。結果として、彼は《メサイア》を作曲当初の形(「初稿版」)では一度も演奏しませんでした。今日行われる演奏も、ダブリン初演版、ロンドン初演版、あるいは孤児養育院版など、いずれかの改訂版に拠るものが主流です。しかし、私はこの記念すべき年に《メサイア》を演奏するのであれば、作品の原点に還ろうと思い、ほとんど演奏例のない「初稿版」を演奏します。「初稿版」ではあちこちに耳慣れない現象が起きますが、それは聴いてのお楽しみです!

《メサイア》は登場人物をもたないため、数あるヘンデル・オラトリオの中で、一般に「非」劇的オラトリオと分類されます。しかし、この言葉に

騙されてはいけません。救世主来臨の預言、生誕、受難、復活と福音の広がり、民の反抗と神の勝利、そして死の克服という壮大なドラマがあります。ヘンデルの音楽も起伏に富み、劇的にして壮大無比です。天才ヘンデルが音符のひとつひとつに潜ませたドラマを残さず解明することは私のライフワークです。信頼する独唱者、合唱団、オーケストラ、皆様の力を借りて、私はその成果を具体的な音で表現し、今まで聴いたことのないドラマを創り上げるつもりです。

《メサイア》の全曲演奏は荘厳な教会を建てる行為に似ています。先の大戦で破壊されたドレスデンの聖母教会が市民の努力で2005年に復元されました。修復作業は空爆した側のイギリス軍の家族から寄贈された十字架の設置で完了しました。この感動的な話を思い起こし、平和を願いながら、終曲「アーメン・コーラス」によって私の《メサイア》もまたその頂に十字架を戴くことができればと願っています。

出演者プロフィール

三澤寿喜 Toshiki Misawa (指揮:企画1,2)

HFJ実行委員長。ヘンデル研究。国立音楽大学大学院修了。主要著書:『ヘンデル』(音楽之友社)。主要編著書:『ヘンデル・アリア選集1(オペラ編)』、『同2(オラトリオ編1)』、『同3(オラトリオ編2)』(共編著:全音楽譜出版社)、『ヘンデル二重唱曲集』(音楽之友社)、『ハレルヤ・コーラス』(全音楽譜出版社)。主要訳書:『ゴッット「ヘンデル」(東京書籍)』、『パロウズ「商業的富裕と文化の伸張」(ドイツ音楽の興隆:音楽之友社)』、他。

松村 萌子 Moeko Matsumura (ソプラノ:企画2)

武蔵野音楽大学卒業。ブレイメン芸術大学音楽科をディプロム取得卒業。荒道子、宇田川貞夫、小山由美、牧野正人、ガブリエル・シュレッケンバッハ、リッパ・ファン・デア・カンパの各氏に師事。在学中よりアンサンブル、オラトリオのソリストとして各地で活動。2008年には初リサイタル「エミリアの哀歌」を開き好評を博す。とりわけドイツ語によるレパートリーを得意とし、パロウから近現代歌曲、オペラまで幅広い分野で演奏活動を展開する。

波多野 睦美 Mutsumi Hatano (アルト:企画2)

宮崎大学教育学部卒業後、ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。イギリスルネサンスのリートソングで国際的な評価を得る。現在はルネサンスからバロック、近現代まで、歌曲のレパートリーを中心に数多くの演奏会を国内外で行う。英国ケンブリッジ、リンカーン音楽祭、アメリカでの中日韓世界平和祈念コンサート、パンパシフィック音楽祭、武蔵野メモリアルコンサート等に出演。バロックオペラでも深い表現力で注目される。

辻 裕久 Hirohisa Tsuji (テノール:企画2)

HFJ実行委員。東京藝術大学音楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。1994年故ダイアナ妃後援による《メサイア》公演のソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、オペラ、オラトリオ、古楽のソリストとして国内外で活躍。CDに『ベンジャミン・プリテン歌曲集』I、II、『ヴォーン・ウィリアムズ歌曲集』、『ペリーニ歌曲集』、『メサイア』など。公式HP: <http://www.soundinternationaljapan.com>

牧野 正人 Masato Makino (バス:企画2)

所属する盛原歌劇団では《楳丈》《アイダ》《ボエーム》などに出演。新国立劇場にも《リゴレット》《ナブッコ》《セビリアの理髪師》など度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。ジローネ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロッシーニ協会会員。

キャンズ・コンサート室内合唱団&管弦楽団(ヘンデル・フェスティバル・ジャパン専属)

HFJ専属の古楽合唱&管楽団。名称はヘンデルが1717~18年頃に滞在したシャンドス公爵の社団・豪華な邸宅「キャンズ邸」の専属合奏団「Cannons Concert」に因む。合唱団はヘンデル作品を専門とする精鋭プロ集団です。美しい英語の発音、透明なハーモニー、俊敏な機動力はすでに評論家諸氏を始め、第5回HFJ客演指揮(《水上の音楽》《戴冠式アンセム》全曲)のエンリコ・オノフリ氏からも絶賛されました。

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.7 (HFJ 2009)
THEME: "The 250th Anniversary of Handel's passing"
PROJECT I
Chorus Workshop: "Hallelujah"
18:30, Tuesday 14th April, 2009
Ikegami Lutheran Church, Tokyo
Lecturer & Conductor: Toshiki Misawa
Tickets: ¥2500 (Free seating) Students=¥1200

PROJECT II
Oratorio MESSIAH (HWV56)
18:30, Monday 20th April, 2009
Hamariky Asahi Hall, Tokyo
Moeko Matsumura (S) Mutsumi Hatano (A)
Hirohisa Tsuji (T) Masato Makino (B)
Choir & Orchestra: CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR & ORCHESTRA
Cond: Toshiki Misawa
Tickets: S=¥6500, A=¥5500, Students=¥3000

●第7回ヘンデル・フェスティバル・ジャパンは他にも以下の国際色豊かな2企画を用意しています。

企画3: チェスキー・クルムロフ真正バロック・オペラ(チェコ)招聘公演

11月21日(日) 14:00-16:00 トッパンホール ◆ヘンデル・オペラの名アリア&名二重唱。豪華衣装・ジェスチャー付き。

企画4: 世界の巨匠ホグウッド氏招聘公演《陽気の人、ふさぎの人》《聖セシリアの祝日のためのオード》

2010年2月13日(日) 15:00 開演予定 浜離宮朝日ホール

※2企画共にチケット発売、8月頃を予定。

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。お申し込み、お問い合わせ: HFJ支援会事務局 jimukyoku@handel-f-j.org

浜離宮朝日ホール
中央区築地5-3-2
Tel 03-5541-8710
●都営地下鉄大江戸線・築地市場駅A2出口3分。
●地下鉄日比谷線・東銀座駅6番出口築地駅1,2番出口から徒歩7-8分。
●都営浅草線・東銀座駅6番出口から徒歩7-8分、新橋駅から約15分。
●JR新橋駅銀座口から徒歩バス
【市バス系統】中央卸売市場行きまたは「朝日新聞館前」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。
※駐車場は近くの首都高速沙留地下駐車場をご利用ください。
(問い合わせ先: 03-3542-0341)

池上ルーテル教会
(駐車場ありません)
大田区池上6-21-18
Tel 03-3751-6812
●東急池上線池上駅下車 徒歩5分。
●京浜東北線蒲田駅乗換え。
●東急池上線池上駅まで3分。
●山手線五反田駅乗換え。
●東急池上線池上駅まで20分。

